

現代に生きる古典日本語

Satoshi Kinsui (Osaka University)

abstract

日本に暮らす日本語話者は、古典芸能、詩歌等で古典語に触れる機会にしばしば接する。しかしそういった特別な機会だけでなく、日常生活の中で用いる言い回し、ことわざ、故事成句等の中に、予想以上に多くの古典的な文法・表現が含まれている。それらの中には、元の意味が忘れられ、誤解されて用いられているものもある。本発表では、そのような現代日本語の中に生きる古典文法・古典的表現の例を指摘し、現代日本語の十全な理解のためには古典日本語の理解が不可欠であることを指摘するとともに、特に人々が古典的表現を用いたくなる状況とはどのようなものかという点についても考察する。

データ

発表者：金水 敏

発表日：2006年8月5日

場所：コロンビア大学、米国ニューヨーク市

学会等：2006日本語教育国際研究大会

セッション等：招待パネル "Classical Japanese," Chair: Haruo Shirane

主催者等：The Association of Teachers of Japanese/National Council of Japanese Language Teachers

1 はじめに

近年、その勢力を大幅に減じているとはいえ、現代の日本の日常生活において古典日本語（文語）は一定の機能を果たしている。その現れ方は、次のように分類できる。

1. 古典散文作品（特に、冒頭部分など有名な一節）
2. 和歌（短歌）、俳句
3. 漢詩・漢文（訓読）
4. 近代文語詩
5. 国歌、愛唱歌
6. ことわざ、故事成句
7. 法律文、勅語等
8. （まれに）流行歌
9. 本・映画等の表題、新聞・雑誌の見出し等

10. 慣用句、定型表現等

1～6までは、いわば古典的教養というべきもので、主に学校教育の中で身につけるものであり、それらの知識を基盤とした引用や応用的表現が新たな表現を生んだりもしている。9、10は、現代の日常生活の中で生産的に使用される文語的表現であり、必ずしも古典的表現と理解されていない場合もある。

2 古典的教養

1については、例えば「枕草子」「源氏物語」「平家物語」「方丈記」「徒然草」などの冒頭部分を記憶している日本人は少なくない。

2としては、例えば百人一首の暗記を中学・高校の授業に取り入れることがよく行われている。俳句では芭蕉の発句が人気が高く、また一茶、蕪村の作品のいくつかもよく知られている。近代短歌、近代俳句の中にも、国民によく知られている作品がある。

3は、6の故事成句ともつながるが、論語、礼記等の中国古典や、杜甫・李白等の詩の一節が好まれてよく引用される。

4は、与謝野晶子、島崎藤村、北原白秋等、明治～昭和初期の作品がよく知られている。5の愛唱歌として親しまれているものもある。

5としては、国歌「君が代」を始めとし、学校でよく歌われた多くの歌が含まれる。「君が代」は平安時代の和歌をもとにした歌詞であるが、現在歌われる文語の愛唱歌は、多く明治～昭和初期に歌詞が作られたものである。外国のメロディに文語の詞が付けられたものも多い。

6は、多く古典の典拠をもつが、変形されている場合もあり、また典拠が忘れられたり顧みられなくなった場合も多い。

7はやや一般的ではないが、刑法など第二次世界大戦以前に作られて現在も有効な法律は、条文が文語で書かれている。また大日本帝国憲法や教育勅語など、既に効力を失っている法律や勅語の類も、さまざまな動機で引用されることがある。教育勅語など、戦前に教育を受けた人で今でも暗唱できる人は少なくない。

8について、特に第二次世界大戦後の流行歌の大部分は口語の歌詞を持つが、まれに文語の詞を持つものがある。また部分的に、文語的表現が用いられることはよくある。

3 文語的表現

現代語の中に生きる文語的表現のリストを示す前に、文語的表現が持つ効果、あるいはなぜ文語的表現が用いられるかという動機について整理しておこう。文語的表現には次のような効果・性質があると認められる。これらの効果は、必ずしも独立のものではなく、お互いに関連しあっている。なお、慣用句、定型表現の中には、文語的性質が化石化した結果、こういった効果がまったく失われてしまったものもある。

- A) 簡潔性
- B) 厳肅さ、莊重さ、權威性、銜学性
- C) 古典美、優雅さ、格調の高さ
- D) 勇壯さ

例えば「空き室有り」(アパートの張り紙)「首相、反省の色無し」(新聞の見出し)等の表現は、格助詞や丁寧表現を省いて成立可能という点で、古典的表現(文語)の特性が生かされている。また、近代短歌や近代俳句が言文一致の洗礼を受けながら、なかなか文語を手放さないのは、短い詩形の中で効率よく表現を盛り込むために、文語の簡潔性が役立つからである。

また、多くの場合、表現の中に文語的表現を盛り込むのは、Bの厳肅さ、莊重さを表現に与えたいからであり、そのことによって文章の權威付けを意識的・無意識的に行っているということは想像に難くないであろう。それは、ことわざ、格言、故事成句が持つ權威性とも関連している。また、極めて口頭語的な歌詞を持つ流行歌の中に、「我が良き友よ」「愛しき人」など、文語的表現が盛り込まれるのは、Cの古典美、優雅さ、格調の高さを詞に与えたいためと考えられる。

文語的表現の効果の由来

古典的教養や文語的表現における誤解・誤用

古典的リテラシーの衰弱と今後の日本語

中学校、高等学校では「古文」「漢文」を教える時間があり、大学入試にも、有力大学の文科系では「国語」の試験問題に「古文」「漢文」を含めることが多い。しかし、「古文」「漢文」を入試に盛り込む大学は減少傾向にある。